

# はじめに

(令和7年度事業の概要)

## 1. 背景

近年、我が国における交通事故死者数は減少傾向にあるものの、交通事故が国民全体の重大な問題であることに変わりはない。そして、交通事故による被害者やその家族・遺族は、事故後、深い悲しみやつらい体験から、様々な悩みを抱えながらの生活を強いられており、交通事故被害者等に対する支援の一層の充実が必要である。

## 2. 目的

交通事故被害者等（交通事故に遭った被害者やその家族・遺族をいう。以下同じ。）が、深い悲しみやつらい体験から立ち直り、回復に向けて再び歩み出すことができるような環境を醸成し、交通事故被害者等の権利・利益の保護を図ることを本事業の目的とする。

## 3. 事業の概要（敬称略）

### （1）交通事故で家族を亡くしたこどもの支援に関するシンポジウム

（令和7年12月2日（火）・岩手県、ライブ配信及びオンデマンド配信）

今年度は、テーマを「交通事故で家族を亡くしたこどもの支援」として、専門家による講演や対応事例の紹介、自助グループの活動発表、体験談の発表等によるシンポジウムを開催した。

●基調講演「悲嘆反応 ～大切な家族を亡くしたあとに起こること～」

講師：岩手医科大学附属病院児童精神科／

岩手医科大学神経精神科学講座講師（児童精神科） 山家 健仁

●対応事例「交通事故で家族を亡くしたこどもを支えるための

制度の活用と連携のあり方」

講師：岩手県社会福祉士会子ども家庭学校委員会（スクールソーシャルワーカー）

嗟峨 翔

●自助グループの活動発表「いわての自助グループの活動について」

発表者：いわて犯罪被害者つどいの会代表 大崎 礼子

●体験談の発表

遺族：中村 斗哉（平成22年（当時4歳）、母を交通事故で失う）

大崎 佑輝（平成12年（当時10歳）、妹を交通事故で失う）

●質疑応答

コーディネーター：

飲酒・ひき逃げ事犯に厳罰を求める遺族・関係者全国連絡協議会幹事

井上 郁美

(令和7年度交通事故被害者サポート事業検討会委員)

専門家：

元同志社大学教授 川本 哲郎

(令和7年度交通事故被害者サポート事業検討会座長)

## (2) 交通事故被害者等支援に関する意見交換会

(令和7年12月2日(火)・岩手県)

交通事故被害者等の支援に向けて、関係担当者間の連携を強化し、支援業務の充実を図るため、テーマを「交通事故被害者等支援に係る関係機関の連携強化」として、事例紹介と意見交換を行った。

●出席団体による事例紹介「岩手県における交通事故被害者等の支援について」

発表者：岩手県警察本部交通部交通指導課次長兼被害者連絡調整官 千葉 憲生

●出席団体による事例紹介「飲酒・暴走運転による交通事件

ご遺族、被害者への関係機関による支援の連携」

発表者：(公社)あおもり被害者支援センター支援局長 工藤 美貴子

●出席団体による事例紹介「交通事故被害者等支援について」

発表者：秋田県警察本部交通部交通指導課次長 小林 幸太

●各県ごとにグループに分かれて意見交換

●意見交換の共有

## (3) 自助グループ運営・連絡会議

(令和7年10月24日(金)・オンライン開催)

交通事故被害者等に接する立場にある者の資質の向上を図るとともに、交通事故被害者等の自助グループ(「同じようなつらさを抱えた者同士が、お互いに支え合い、励まし合う中から、問題の解決や克服を図り、被害に遭う前の平穏な生活を再び取り戻す」ことを目的に集うグループのことをいう。以下同じ。)の必要性や自助グループを取り巻く環境に対する理解を深めることによって、被害者の回復のための自助グループ活動の促進や自助グループ設立の支援に資するため、テーマを「交通事故被害者等団体による自助グループ活動の紹介」として、専門家による講演と事例紹介を行った。

●講演「ピアサポートの重要性」

講師：武庫川女子大学心理・社会福祉学部社会福祉学科教授 大岡 由佳

●事例紹介「交通犯罪による重度障害者家族会の活動

～NPO 法人交通事故後遺障害者家族の会～

発表者：(NPO 法人) 交通事故後遺障害者家族の会理事 竹島 康美

●事例紹介「犯罪被害者団体ネットワーク（ハートバンド）の活動と課題」

発表者：犯罪被害者団体ネットワーク（ハートバンド）代表 井上 郁美

●講演「心と体を繋ぐセルフケア ～今、この瞬間に集中する時間～」

講師：高知リハビリテーション専門職大学作業療法士 足立 一

常葉大学作業療法士 吉田 裕紀

●質疑応答

本事業は、いずれも警察庁が株式会社アステムに委託して実施した。

## 4. 検討会

### (1) 目的・内容

被害者学、心理学、被害者支援、遺族心理に関する有識者からなる交通事故被害者サポート事業検討会を設置し、令和7年度交通事故被害者サポート事業の実施方針、実施方法、事業総括等について検討する。検討会は、有識者7名の検討会委員により3回開催し、各事業の進捗状況の管理を行うとともに、事業報告書等を作成する。

### (2) 委員（敬称略・順不同）

- ・元同志社大学教授 川本 哲郎（座長）
- ・飲酒・ひき逃げ事犯に厳罰を求める遺族・関係者全国連絡協議会幹事 井上 郁美
- ・(公社) 全国被害者支援ネットワーク理事 和氣 みち子
- ・武庫川女子大学心理・社会福祉学部社会福祉学科教授 大岡 由佳
- ・(公社) 被害者支援都民センター犯罪被害相談員  
(NPO 法人) いのちのミュージアム理事 中土 美砂
- ・追手門学院大学心理学部心理学科教授 櫻井 鼓
- ・警察庁交通局交通企画課交通安全企画官 牧 丈二

### (3) 開催概要

#### ①第1回検討会（令和7年7月24日（木）・オンライン開催）

- ・令和7年度交通事故被害者サポート事業の実施方針及び実施方法等

#### ②第2回検討会（令和7年12月22日（月）・オンライン開催）

- ア 交通事故で家族を亡くしたこどもの支援に関するシンポジウムの実施結果報告

- イ 交通事故被害者等支援に関する意見交換会の実施結果報告
- ウ 自助グループ運営・連絡会議の実施結果報告
- エ 令和7年度交通事故被害者サポート事業報告書 目次案の報告

### **③第3回検討会（令和8年2月17日（火）・オンライン開催）**

- ア 令和7年度交通事故被害者サポート事業報告書最終案検討
- イ 本年度事業総括

※各章における講演や体験談等の記述については、被害者等の方々の率直な思いを尊重してまとめたものです。また、掲載することにつき御本人の同意を得ております。